

方針と重点	基本施策	学校教育目標	資質・能力	育てたい	基本施策との関わり	本年度新たな学校の重点	具体的な実践内容または観点 (手立てとしてどうか、または達成度はどうか)	評価 A S D	分析と改善点
重点方針・目標 ・未来社会を創造する ・歩み寄り ・学び続ける子の育成	⑤④③②① 安心・安全・心豊かな地域で、健康な生活を送るための教育の推進	人間性豊かな生活力ある国中生	未来を生き抜くたくましさ	確かな学力を育成する学校	①	「生徒が自ら動き、自ら学ぶ授業」の創造	(1)仲間との対話や議論、教師からの働きかけ、教科書や資料等を手掛かりに考える授業を通して「自分の考えが深まった」と答える生徒の割合を80%にする。	A	【成果の要因】 ・興味関心を高め見通しをもたせるための単位時間、単元構成の工夫や、自分の考えを表現し振り返る指導の充実、ICT機器の有効的な活用を中心とした授業改善を継続的に行ってきた。 ・家庭学習では、習熟度に沿った課題を提示したり、学びたい意欲に即して学習できるプリントの準備など、個に応じた宿題になるよう学年毎に工夫した。しかし、与えられた課題をこなすだけになっている生徒の意識を耕し続ける必要性を感じている。 【改善点】 ・授業：①意欲を高める課題解決的な授業 ②議論とプレゼンの場 ③学びの実感がもてる振り返りの場 ④基礎・基本の定着 ・家庭学習：①学習進度に応じた適度な量の提示 ②生徒自身が計画を立て取り組む家庭学習
					④		(2)ICT機器の効果的な活用や資料収集・提示方法、説明の仕方等の指導を通して、「工夫して聞き手に分かりやすく発表できた」と答える生徒の割合を75%にする。	A	
					①		(1)家庭学習方法の具体的な個別指導や、保護者と連携した見届けを行うことで自己調整力を高め、「自ら進んで家庭学習に挑戦している」と答える生徒の割合を80%にする。	B	
				自己肯定感と表出力を高める学校	②④	「学年担任制」による組織的な対応と業務改善の推進	(1)全職員が一貫性をもった指導を積み重ねることで、「先生に話しやすくなった」「話しやすい先生が増えた」と答える生徒の割合を80%にする。	A	【成果の要因】 ・学年担任制の実施により、一人の生徒に関わるができる教員の人数が増えた。また、生徒の状況をいち早く共有し、対応を協議し、全職員による一貫性のある指導を実現した。 ・掃除や集会でのレクリエーション、なりたい自分の交流会など生徒会では縦割り活動を多く取り入れ、自主性や自治力を育てた。 【改善点】 ・全ての教育活動において道德教育を軸とした取組を設定し、更なる推進を図る。 ①基礎的・汎用的能力に基づいたなりたい自分の設定 ②なりたい自分にかかわる集会等での語りの場の継続 ③具体的な事実で語り、互いの良さを認め合う取組の継続 ④仲間、地域社会との意図的な関わり場の設定。それを通して「道徳的心情」「道徳的判断力」「道徳的实践意欲・態度」の育成
					②④		(2)生徒の頑張りを価値づけ、位置づけ、方向づけることで、「様々な先生が“なりたい自分”への取り組みを、認め支えてくれている」と答える生徒の割合を80%にする。	A	
					②	楽しさと安心感を生み出す学級活動・生徒会活動の推進	(1)課題解決に向けて話し合う活動の積み上げを通して、「自分たちの学級・学年は自分たちで創り上げようと思うようになった」と答える生徒の割合を80%にする。	A	
					②④		(2)生徒会等でのコミュニケーション活動の工夫と認め合い活動の活性化を通して「学校生活向上のための考えを学級・学年や全校等に表出できた」と答える生徒の割合を80%にする。	B	
				自分の生き方を考える学校	①②③	キャリア教育の積極的な推進	(1)岐阜県、高山市、国府町出身で活躍する人の勤労観に触れることで「将来の職業、生活との関連の中で今の学習の必要性や大切さが理解できた」と答える生徒の割合を80%にする。	A	【成果の要因】 ・市や町の歴史、産業、働く人々の様子や思い等について理解を深めるため、地域の人材や素材を生かした活動を継続した。 【改善点】 ・地域社会の一員として考え行動できる「地域社会人」の育成のために、以下について取り組む。 ①地域と協働した総合的な学習の時間を継続しながら、育てたい資質・能力を育む。→「Future Plan」 ②郷土愛を育み持続可能な未来への意識や実践力を高める。 ・郷土の魅力、人々の願い、地域の未来について発見、思考、発信する力を育む。 ・地域のボランティアへの参加を通して、郷土愛を育む。
					①②③		(1)史跡建造物訪問、伝統工芸製作体験等を通して「国府に残る伝統文化や継承する人々の営みが何か言える」と答える生徒を90%にする。	A	
					①②③		(1)まちづくり協議会とのコラボによるボランティア活動やタウン誌作り、ウェルカムボード製作等を通して「町の誇りや将来なりたい自分の展望が言える」と答える生徒の割合を90%以上にする。	B	

学校運営協議会における主な評価内容

・大変落ち着いた空気の中で学習できている。「主張・尊重・創造」を大切にした学校経営が生徒の自主性を育て、「未来を生き抜くたくましさ」が身についてきたことが伝わる。
・甲斐性のある人間を育ててほしい。失敗してもへこたれず、再挑戦できる人間を育ててほしい。そのため、実際に手や体を動かして得られる経験を大切に、教育活動を仕組んでいってほしい。